

下水道事業会計 (企業会計)

P.72以降 ◎は新規事業、下線部は内容
☆は拡充事業、下線部は内容
()内は前年度予算額

公営企業会計の概要について

1 一般会計等との違い

	官庁会計 【一般会計、特別会計】	公営企業会計 【下水道事業会計等】	企業会計 【民間企業】
会計原則	単式簿記・現金主義	発生主義・複式簿記	発生主義・複式簿記
作成書類等	予・決算書のほか事項別 明細書等の説明資料	予・決算書のほか貸借対照表、 損益計算書等の説明資料	貸借対照表、損益計算書、 株主資本等変動計算書等

2 独立採算制

地方公営企業は、公共性と経済性を発揮しつつ、**独立採算を維持することが原則**であり、必要な経費は利用者に支払っていただく使用料によって賄っていく必要があります。

その一方で、本来一般会計で担うべき事業や、政策的に実施される採算ベースに乗りにくい事業など、**使用料収入によって経費を賄うことが適しない事業については、一般会計が応分の費用を負担**することとなっており、繰出金（負担金、補助金、出資金）として公営企業会計に支払います。

【下水道事業会計への一般会計繰出金】

- ・汚水は使用料等で、雨水は一般会計負担で処理することが基本です。（**雨水公費・汚水私費の原則**）
- ・汚水経費のうち、処理水の水質向上などに係る経費の一部は一般会計が負担しています。

※一般会計が負担する経費は、毎年、総務省通知「地方公営企業繰出金について」で定められています。

3 収益的収支と資本的収支

下水道事業会計は、**収益的収支と資本的収支から構成**されています。

●収益的収支

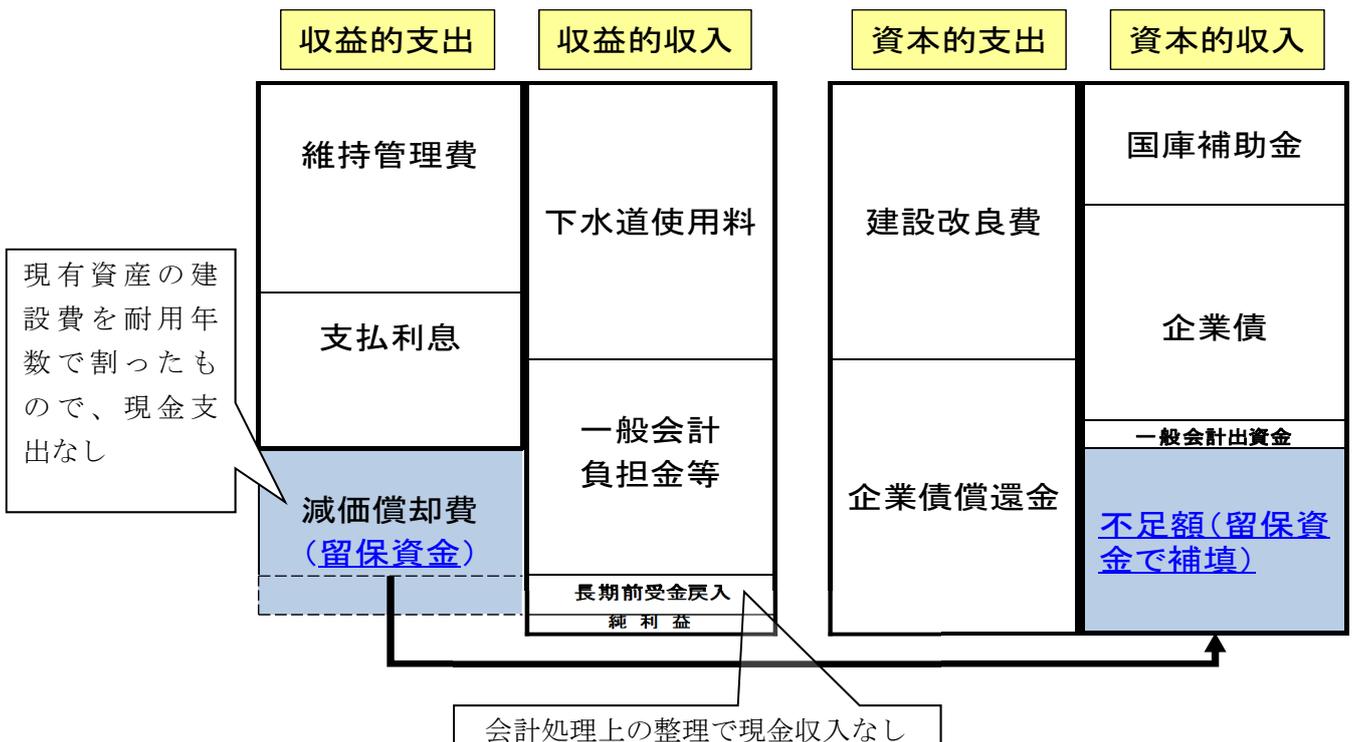
- ・収入) 当年度の使用料、雨水処理に係る一般会計からの負担金など
- ・支出) 下水道施設の運転・修繕等の維持管理費、設備等の減価償却費、企業債の支払利息

●資本的収支

- ・収入) 建設経費に対する国庫補助金、一般会計からの出資金のほかは、借入金である企業債
- ・支出) 施設の新設・再整備などの建設改良費、過去の借入金の企業債償還金等

【公営企業会計の特徴】

◇**資本的収支の不足分は、収益的支出の減価償却費（損益勘定留保資金）などで補てん**します。



＜下水道事業会計予算案総括表＞

収入及び支出内訳

(税込) (単位:千円)

区 分	本年度	前年度	増△減	主な増減理由
支出合計 (A + B)	262,980,189	248,389,674	14,590,515	

＜収益的収支＞

収益的収入	128,633,565	130,463,786	△ 1,830,221	
下水道使用料	59,899,427	60,074,020	△ 174,593	
一般会計負担金等 (ア)	35,132,733	37,485,202	△ 2,352,469	雨水処理経費のうち、減価償却費の一部について繰入れを終了
長期前受金戻入	30,045,906	30,152,724	△ 106,818	
その他の	3,555,499	2,751,840	803,659	委託事業者が負担する電気・ガス料金の増
収益的支出 (A)	125,529,594	126,511,106	△ 981,512	
維持管理費	43,094,854	43,369,935	△ 275,081	
減価償却費等	78,095,473	77,871,124	224,349	
支払利息等	3,648,463	3,916,513	△ 268,050	
その他の	690,804	1,353,534	△ 662,730	消費税納付見込額の減
収益的収支差引	3,103,971	3,952,680	△ 848,709	
消費税等調整額	2,644,616	2,222,359	422,257	
純利益	459,355	1,730,321	△ 1,270,966	

＜資本的収支＞

資本的収入	76,585,436	73,529,072	3,056,364	
国庫補助金	15,192,376	14,176,487	1,015,889	浸水対策の補助対象事業費の増
企業債	61,274,000	58,925,000	2,349,000	
下水道整備事業費充当企業債	37,738,000	39,247,000	△ 1,509,000	市単独事業の減
借換債	23,536,000	19,678,000	3,858,000	借換対象企業債の増
一般会計出資金 (イ)	106,221	413,818	△ 307,597	
その他の	12,839	13,767	△ 928	
資本的支出 (B)	137,450,595	121,878,568	15,572,027	
下水道整備費	58,772,499	57,943,464	829,035	下水道改良費を下水道整備費に統合し、一括管理するため
下水道改良費	500,099	1,124,099	△ 624,000	
給与費	1,949,686	2,038,287	△ 88,601	
企業債償還金	72,000,667	60,538,781	11,461,886	償還期限を迎える企業債の増
一般会計繰出金	4,000,000	-	4,000,000	一般会計繰出金の増
企業備品購入費等	227,644	233,937	△ 6,293	
資本的収支差引	△ 60,865,159	△ 48,349,496	△ 12,515,663	

◆ 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額60,865,159千円は、当年度損益勘定留保資金等で補てんします。

一般会計繰入金計 (ア)+(イ)	35,238,954	37,899,020	△ 2,660,066
------------------	------------	------------	-------------

＜下水道事業会計予算案総括表（支出関係・目別）＞

支出関係

(税込) (単位:千円)

維持管理に係る支出（収益的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 下水道管理費	125,529,594	126,511,106	△981,512	△ 0.8%
1項 営業費用	121,190,327	121,241,059	△50,732	△ 0.0%
1目 管 き よ 費	7,793,770	7,455,032	338,738	4.5%
2目 ポ ン プ 場 費	3,538,932	4,296,853	△757,921	△ 17.6%
3目 処 理 場 費	20,420,638	20,368,348	52,290	0.3%
4目 排 水 設 備 費	169,516	159,310	10,206	6.4%
5目 業 務 費	157,422	144,529	12,893	8.9%
6目 水道事業会計繰出金	5,200,000	5,000,000	200,000	4.0%
7目 総 係 費	314,052	290,979	23,073	7.9%
8目 下 水 道 研 究 費	45,857	59,058	△13,201	△ 22.4%
9目 工 場 排 水 対 策 費	41,525	34,508	7,017	20.3%
10目 減 価 償 却 費	77,469,599	76,896,931	572,668	0.7%
11目 資 産 減 耗 費	625,874	974,193	△348,319	△ 35.8%
12目 給 与 費	5,413,142	5,561,318	△148,176	△ 2.7%
2項 営業外費用	4,142,805	4,833,917	△691,112	△ 14.3%
1目 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	3,648,463	3,916,513	△268,050	△ 6.8%
2目 消費税及び地方消費税	422,194	843,255	△421,061	△ 49.9%
3目 雑 支 出	72,148	74,149	△2,001	△ 2.7%
3項 特別損失	186,462	426,130	△239,668	△ 56.2%
1目 災 害 に よ る 損 失	146,000	158,414	△12,414	△ 7.8%
2目 そ の 他 特 別 損 失	40,462	40,462	-	0.0%
〔 固 定 資 産 売 却 損 〕	-	227,254	△227,254	皆減
4項 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%

建設投資に係る支出（資本的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 下水道事業資本的支出	137,450,595	121,878,568	15,572,027	12.8%
1項 建設改良費	61,436,746	61,326,614	110,132	0.2%
1目 下 水 道 整 備 費	58,772,499	57,943,464	829,035	1.4%
2目 下 水 道 改 良 費	500,099	1,124,099	△624,000	△ 55.5%
3目 企 業 備 品 購 入 費	180,025	186,834	△6,809	△ 3.6%
4目 リ ー ス 債 務 支 払 額	34,437	33,930	507	1.5%
5目 給 与 費	1,949,686	2,038,287	△88,601	△ 4.3%
2項 企業債償還金	72,000,667	60,538,781	11,461,886	18.9%
1目 企 業 債 償 還 金	72,000,667	60,538,781	11,461,886	18.9%
3項 投 資	3,182	3,173	9	0.3%
1目 水 洗 便 所 改 造 資 金 貸 付 金	3,182	3,173	9	0.3%
4項 一般会計繰出金	4,000,000	-	4,000,000	-
1目 一 般 会 計 繰 出 金	4,000,000	-	4,000,000	皆増
5項 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%

■債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事項	期間	限度額
下水道管きよ修繕工事及び維持管理等委託	令和7年度	限度額 1,210,000千円
ポンプ場修繕工事	令和7年度	限度額 800,000千円
水再生センター修繕工事	令和7年度	限度額 2,400,000千円
下水道整備工事及び設計・測量等委託	令和7年度から令和12年度まで	限度額 58,000,000千円

■下水道施設の維持管理・再整備・再構築と予算支出科目

◇ 管きよ

実施内容			支出科目	
日常的な点検・調査及び修繕			P72 (1) 管きよ費	1 管きよ等維持管理事業
改築	再整備	更新	P80 (19) 下水道整備費	3 (2) ア 下水道管の再整備
		長寿命化		

◇ 水再生センター、ポンプ場等

実施内容			支出科目	
日常的な点検・調査及び修繕			P73 (2) ポンプ場費	1 ポンプ場事業
			P73 (3) 処理場費	1 水再生センター事業
改築	再整備	更新	P80 (19) 下水道整備費	3 (2) イ 水再生センター・ポンプ場等の再整備・再構築
		長寿命化		
	再構築			
	改良		P81 (20) 下水道改良費	1 水再生センター・ポンプ場等の改良

改築 : 再整備、再構築および改良のこと

再整備 : 耐用年数を超過した施設・設備に対して行う更新や長寿命化のこと

更新 : 施設・設備の全部を取り換えること

長寿命化 : 耐用年数の変更を伴う、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

再構築 : 機能の維持・向上を図りながら耐用年数を超過した施設の解体・新規築造を行うこと

改良 : 経年劣化や設置環境等により機能低下した施設・設備に対して機能回復・向上及び耐用年数の延長を図ること

修繕 : 耐用年数の変更を伴わない、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

■維持管理に係る支出（収益的支出）

(1)	管きよ費 収益的支出 1款1項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		7,793,770	7,455,032	338,738	—	—	24,960	7,768,810

1 管きよ等維持管理事業 **7,399,868千円(6,922,105千円)**

約 11,900km の下水道管きよについて、ストックマネジメントの推進等、総合的な維持管理を進めます。

(1) スtockマネジメントの推進（清掃・点検・修繕） **6,989,391千円(6,449,805千円)**

管きよの清掃に合わせたスクリーニング調査等の結果を踏まえ、状態監視保全を基本とした計画的な維持管理・改築を推進します。中大口径管については、包括的民間委託による状態把握及び修繕を適切に実施します。

また、土木事務所と連携し、管きよの清掃による不具合の解消、点検や路面下空洞化調査等により、下水道起因による陥没事故を未然に防止します。台風時等の下水道施設の被害についても、迅速な緊急対応に努めます。

(2) 効率的な雨水管理の推進等 **400,300千円(465,300千円)**

雨水貯留施設における水位情報をもとにした既存施設の有効活用の検討、雨天時の汚水管への浸入水対策など適切な雨水管理に努めます。また、再生水を活用し整備したせせらぎについて、地域の方々と土木事務所が連携し、適切な修繕を行い、魅力ある水・緑環境を維持します。

(3) ◎タブレット端末活用による現場業務のオンライン・ペーパーレス化 **2,177千円(-)**

土木事務所の職員が現場にタブレット端末を携行することにより、「施設点検」、「災害対応」、「工事現場監督」など様々な業務の効率化を図ります。

(4) ハマッコトイレの点検・整備 **8,000千円(7,000千円)**

整備されたハマッコトイレの定期的な点検等を民間企業と連携して実施し、災害時の機能確保を図ります。

2 下水道台帳等管理事業 **393,902千円(532,927千円)**

膨大な下水道管きよストックを管理するため、下水道台帳を作成し、システムにて運用しています。運用に当たり、管きよの維持管理情報を蓄積することで維持管理の効率化を進めるとともに、台帳情報を市庁舎の専用端末や市ホームページにて提供しています。

(2)	ポンプ場費 収益的支出 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		3,538,932	4,296,853	△757,921	—	—	17,339	3,521,593

ポンプ場では、雨水を速やかに排除することで浸水を防止するとともに、家庭などからの自然流下が困難な汚水を水再生センターへ送水します。

また、主ポンプや自家発電設備などの主要設備については、予防保全型の維持管理により計画的な修繕を推進し、長寿命化を図ります。

1 ポンプ場事業

3,538,932千円(4,296,853千円)

大型ポンプ場26か所、地下道などが降雨時に浸水しないための小規模排水ポンプ場25か所及び自然流下が困難な汚水を中継するマンホールポンプ施設20か所の維持管理を行い、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。

(3)	処理場費 収益的支出 1款1項3目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		20,420,638	20,368,348	52,290	—	—	3,312,729	17,107,909

水再生センターでは、家庭や事業所から流れてくる汚水を浄化し海や川の水質を保全するとともに、大雨を速やかに排除し浸水を防止しています。

汚泥資源化センターでは、水再生センターの処理工程で発生する汚泥から消化ガスを取り出し発電等に利用するとともに、汚泥の燃料化や焼却による減量化を図ります。

1 水再生センター事業

20,420,638千円(20,368,348千円)

11か所の水再生センター、2か所の汚泥資源化センターの維持管理を行い、適切な運転管理のもと電力使用量の多い送風機や主ポンプの電力を削減するなど、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。

また、汚泥燃料化施設、改良土プラントの管理運営をPFI方式で実施し、汚泥の有効利用及び温室効果ガス削減を行います。

経営の効率化については、場内清掃点検業務、汚泥資源化センター等包括的管理委託を継続し、また、汚泥処理で発生した消化ガスを用いて発電し、固定価格買取制度で売電を図るなど維持管理費の節減に努めます。

(4)	排水設備費 収益的支出 1款1項4目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		169,516	159,310	10,206	720	—	1,090	167,706

1 排水設備運営事業 157,110千円(149,939千円)

未水洗化世帯の水洗化及び排水設備の適正な設置を促進するため、水洗化の指導・相談・助成制度の運用・宅地内排水設備工事の検査・工事店の指定などを行うとともに、効率的な排水設備計画確認業務のための電子化を進めます。

また、災害時の自助・共助の促進を図る取組として、マンホールトイレ設置助成を行います。

2 グリーンインフラ活用促進事業 12,406千円(9,371千円)

雨水の保水・浸透機能を高める取組として、雨水貯留タンクや宅内雨水浸透ますの設置に係る助成と併せて、農地への浸透を促進する雨水流出対策を行います。

(5)	業務費 収益的支出 1款1項5目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		157,422	144,529	12,893	—	—	17,399	140,023

公共下水道に排水している一般世帯・事業所等に対し、適正に下水道使用料の徴収を行います。

1 下水道使用料徴収経費 133,121千円(124,475千円)

公共下水道への接続確認調査や使用水量の認定等を行い、下水道使用料を適正に徴収します。

2 市境相互負担金 24,301千円(20,054千円)

隣接する各市との市境区域で、地形上やむを得ない理由から、引き続き、「下水の排除及び処理事務の相互委託に関する協定」に基づいて、下水道施設の相互利用にかかる経費について負担します。(川崎市、町田市、鎌倉市、藤沢市)

(6)	水道事業会計繰出金	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項6目	5,200,000	5,000,000	200,000	—	—	—	5,200,000

下水道使用料の徴収を水道局へ委任することに伴う徴収事務に要する諸経費について負担します。

1 水道事業会計繰出金 **5,200,000千円(5,000,000千円)**

料金の徴収形態を同一とする水道事業、下水道事業の2事業体が、同一の利用者に対して各々、独自に徴収業務を行うことは非効率、不経済であることから、経費節減、効率的な事業執行を図るために「下水道使用料の徴収等を水道事業管理者に委任する規則」に基づき、水道利用に係る下水道使用料については水道局に徴収を委任します。そのため、発生する諸経費について負担します。

(7)	総係費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項7目	314,052	290,979	23,073	—	—	33,732	280,320

1 下水道広報事業 **18,088千円(15,500千円)**

下水道関連イベント（「水の日」など）への参加や、デジタルメディアなど各種広報媒体を積極的に活用し、わかりやすい広報活動を展開します。

2 下水道事業経営研究事業 **2,918千円(4,304千円)**

学識経験者等により構成され、広く専門的な見地から今後の施策や財政運営など経営に関し、調査研究及び審議を行う附属機関「横浜市下水道事業経営研究会」を運営します。

3 海外水ビジネス展開支援事業 **30,553千円(28,457千円)**

横浜のプレゼンス向上及び市内企業等のビジネスチャンスの創出に向け、横浜水ビジネス協議会会員企業と連携した海外調査や海外関係者とのビジネスマッチング、フィリピンやベトナム等新興国で下水道整備等の技術協力などを推進します。

4 下水道国際交流事業 **19,738千円(20,097千円)**

本市の今後の下水道事業に活かすため、海外の下水道事業者との技術交流等を実施し、先進的な知見や技術の情報収集を図るとともに、人材育成を進めます。

5 下水道総務費等 **242,755千円(222,621千円)**

職員の人材育成や被服の購入及び財務会計システムの改善・運用等に係る経費、また、建物および設備の維持管理に関する負担金等の一般会計への負担金を計上します。

(8)	下水道研究費 収益的支出 1款1項8目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		45,857	59,058	△13,201	—	—	—	45,857

1 技術開発 **43,871千円(55,058千円)**

下水道分野における温室効果ガスの削減に努め、下水道資源の有効活用等に資する最先端の技術や知見に関わる調査・研究に取り組みます。

2 下水道資源の更なる活用（農との連携） **1,986千円(4,000千円)**

北部下水道センター内農業用ハウスにおいて、下水道資源を活用した水耕栽培を行い、その有用性や安全性等を検証します。

(9)	工場排水対策費 収益的支出 1款1項9目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		41,525	34,508	7,017	—	—	30	41,495

下水道施設の適正な保全・維持管理を図るため、下水道法等に基づいて事業場への規制・指導を行います。

1 工場排水対策事業 **41,525千円(34,508千円)**

下水処理区域内の事業場に対し、下水道法等に基づき除害施設の設置、改善等の指導や排水の監視、規制等を行います。

(10)	減価償却費 収益的支出 1款1項10目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		77,469,599	76,896,931	572,668	—	—	29,803,449	47,666,150

償却資産について、適正な期間損益の計算を目的に、資産の使用に伴って発生する価値の減少（減価）分を費用化します。

1 減価償却費 **77,469,599千円(76,896,931千円)**

(11)	資産減耗費 収益的支出 1 款 1 項 11 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		625,874	974,193	△348,319	—	—	242,457	383,417

滅失、破損した資産及び使用不能となった資産について、経済的価値の実態を反映させるため、除却時に帳簿価額の全部又は一部を費用化します。

1 資産減耗費 **625,874 千円(974,193 千円)**

(12)	給与費 収益的支出 1 款 1 項 12 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		5,413,142	5,561,318	△148,176	—	—	—	5,413,142

下水道事業の維持管理に係る人件費を計上します。

1 給与費 **5,413,142 千円(5,561,318 千円)**

(13)	支払利息及び 企業債取扱諸 費 収益的支出 1 款 2 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		3,648,463	3,916,513	△268,050	—	—	1,500	3,646,963

企業債に係る利息及び取扱諸費等を計上します。

1 支払利息及び企業債取扱諸費 **3,648,463 千円(3,916,513 千円)**

(14)	消費税及び地 方消費税 収益的支出 1 款 2 項 2 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		422,194	843,255	△421,061	—	—	—	422,194

消費税及び地方消費税を納付します。

1 消費税及び地方消費税 **422,194 千円(843,255 千円)**

(15)	雑支出	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款2項3目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		72,148	74,149	△2,001	—	—	—	72,148

過年度分の下水道使用料の過誤納による還付等、他の科目に属さない経費を計上します。

1 雑支出 **72,148千円(74,149千円)**

(16)	災害による 損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款3項1目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		146,000	158,414	△12,414	—	—	146,000	—

屋外に保管されている汚泥焼却灰について、保管等に伴う経費を計上します。

1 汚泥焼却灰保管等に係る経費 **146,000千円(158,414千円)**

(17)	その他特別 損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款3項2目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		40,462	40,462	0	—	—	—	40,462

工事一時中止等に伴う経費を計上します。

1 工事一時中止等に伴う経費 **40,462千円(40,462千円)**

(18)	予備費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款4項1目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		10,000	10,000	0	—	—	—	10,000

予備費を計上します。

1 予備費 **10,000千円(10,000千円)**

■建設投資に係る支出（資本的支出）

(19)	下水道整備費 資本的支出 1款1項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
					千円	千円	千円	千円
		58,772,499	57,943,464	829,035	15,192,376	37,738,000	11,224	5,830,899

快適で安全・安心な市民生活の確保に向けて、浸水対策、地震対策、下水道の再整備・再構築や循環型社会、脱炭素社会へ向けた取組を着実に進めます。

- 1 災害に強いまちづくり 15,139,626千円(15,019,206千円)
- (1) 浸水対策 11,086,750千円(8,182,920千円)
- ア ☆計画的な浸水対策の着実な推進 5,486,750千円(5,604,220千円)
- 市域全域で、過去に浸水被害を受けた地区において、地域の雨水排水の骨格となる雨水幹線や雨水を貯留する雨水調整池等の施設整備を進めます。また、近年の気候変動の影響による大雨を踏まえた予測対応型の浸水対策を推進します。
- イ 横浜駅周辺地区における下水道整備 4,586,000千円(1,815,700千円)
- 都市機能が集積している横浜駅周辺地区において、エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を引き続き進めるとともに、東高島ポンプ場の建設に向け設計を進めます。
- ウ 水再生センター等の耐水化の推進 684,000千円(321,000千円)
- 豪雨時の浸水による水再生センターやポンプ場の機能停止を防ぐため、施設の開口部等からの浸水を防ぐ耐水化を進めます。
- エ ☆自助・共助の促進支援 20,000千円(120,000千円)
- ウェブサイト上で横浜駅周辺の下水道管内の水位情報をリアルタイムで提供します。また、新たに戸塚駅周辺の水位情報の提供を開始します。
- オ 下水道BCP（業務継続計画）【水害編】に基づく危機管理体制の確保 10,000千円(10,000千円)
- 大雨に備え、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道 BCP【水害編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。
- カ グリーンインフラの活用（貯留浸透機能の強化） 300,000千円(312,000千円)
- 公共施設の再整備等に合わせた雨水の貯留浸透機能向上を図る取組などを進めます。
- (2) 地震対策 4,052,876千円(6,836,286千円)
- ア 下水道施設の耐震性能の向上 4,042,876千円(6,826,286千円)
- 災害時に地域防災拠点、応急復旧活動拠点（市区庁舎等）及び災害拠点病院等のトイレが使用できるよう、各拠点からの排水が流入する下水道管の耐震性能を検証し、必要な工事を実施するなど、下水道管の耐震化を進めます。また、災害時に下水処理が継続できるよう、水再生センター等の耐震化を進めるとともに、沿岸部に位置する水再生センター等では、発電設備の高所化や防水扉の設置などの津波対策を進めます。
- イ 下水道 BCP(業務継続計画)【地震・津波編】に基づく危機管理体制の確保 10,000千円(10,000千円)
- 震災時においても、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道 BCP【地震・津波編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。

2	良好な環境の創出	9,029,577千円(10,523,213千円)
(1)	良好な水環境の創出	8,546,140千円(10,043,258千円)
	設備機器の更新に併せて窒素やリンを除去する高度処理の導入を進めます。 中部水再生センターにおいて高速ろ過設備の導入を進めます。	
(2)	☆循環型社会への貢献	483,437千円(479,955千円)
	汚泥資源化センターの汚泥処理有効利用事業に引き続き取り組みます。また、 <u>下水汚泥から回収したリンを活用した肥料化の取組を推進します。</u>	
3	市民生活を支える下水道の管理	34,533,296千円(32,266,865千円)
(1)	☆効率的な調査の推進	1,151,000千円(906,000千円)
	下水道管の清掃に合わせたノズルカメラによるスクリーニング調査を実施します。また、 <u>下水道施設台帳の電子化を更に進めることにより</u> 、下水道管の情報が集約され、再整備が必要な箇所の効率的な抽出を図ることで、再整備を着実に進めていきます。	
(2)	老朽化対策	33,382,296千円(31,360,865千円)
ア	☆下水道管の再整備	13,976,079千円(13,745,463千円)
	全市域を対象としたスクリーニング調査の結果に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じた再整備を着実に進めます。特に老朽化の進んだ取付管は、道路陥没の要因となることがあるため、 <u>発注業務の効率化を図り、取付管再整備を一層推進していきます。</u>	
イ	水再生センター・ポンプ場等の再整備・再構築	17,297,015千円(16,500,202千円)
	老朽化した設備等の再整備を着実に進めるとともに、土木構造物の標準耐用年数を超過する水再生センターやポンプ場において再構築の検討を進めます。	
ウ	高効率・省エネ設備の導入	2,109,202千円(1,115,200千円)
	機器の高効率・省エネ化を着実に進めます。	
4	☆温室効果ガスの削減【一部再掲】	2,134,202千円(1,249,380千円)
	<u>南部汚泥資源化センターの汚泥焼却炉更新において、民間技術やノウハウを最大限に活用し、温室効果ガスの排出量が少ない汚泥焼却炉の導入を進めます。</u> また、機器の高効率・省エネ化を着実に進めます。	
5	☆下水道DX	45,000千円(-)
	安定的・持続的な下水道サービスの提供に向けて、DX実現に向けた方針を示した「横浜下水道DX戦略」に基づき、排水設備計画申請手続きなどの行政手続きのオンライン化による市民サービス向上や、 <u>施設情報と連動した3次元モデルの活用などによる業務の効率化を推進します。</u>	

(20)	下水道改良費 資本的支出 1款1項2目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		500,099	1,124,099	△624,000	—	—	—	500,099

経年劣化により機能低下した水再生センター・ポンプ場等の設備を改良し、機能回復と耐用年数の延長を図ります。

1 水再生センター・ポンプ場等の改良 **500,099千円(1,124,099千円)**

水再生センター11か所、汚泥資源化センター2か所、大型ポンプ場26か所等の設備を対象に改良工事を施工します。改良にあたっては、省エネルギー機器の導入などにより、維持管理費増大の抑制に努めます。

- ・電気設備改良工事 1件
- ・機械設備改良工事 6件

(21)	企業備品購入費 資本的支出 1款1項3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		180,025	186,834	△6,809	—	—	—	180,025

事業実施に必要な企業備品（車両又は機械・装置の附属設備に含まれない器具備品）を購入します。

企業備品とは、耐用年数が1年以上、かつ取得価額が10万円（税抜）以上の備品です。

1 企業備品購入費 **180,025千円(186,834千円)**

災害対応用ポンプ 一式 等

(22)	リース債務支払額 資本的支出 1款1項4目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
					千円	千円	千円	千円
		34,437	33,930	507	—	—	—	34,437

リース資産の本年度のリース料について執行します。

1 リース債務支払額 **34,437千円(33,930千円)**

(23)	給与費 資本的支出 1款1項5目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
					千円	千円	千円	千円
		1,949,686	2,038,287	△88,601	—	—	—	1,949,686

下水道事業の建設改良に係る人件費を計上します。

1 給与費 **1,949,686千円(2,038,287千円)**

(24)	企業債償還金 資本的支出 1款2項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		72,000,667	60,538,781	11,461,886	—	23,536,000	—	48,464,667

過去に下水道整備費等の財源として発行した企業債の当年度償還金を計上します。

1 企業債償還金 **72,000,667千円(60,538,781千円)**

(25)	水洗便所改造 資金貸付金	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	国・県				企業債	その他	損益勘定 留保資金等	
	資本的支出 1款3項1目	千円 3,182	千円 3,173	千円 9	千円 -	千円 -	千円 1,615	千円 1,567
<p>処理区域内において、水洗化を促進するため、水洗化工事等の工事費の一部について、貸付けを行います。</p> <p>1 水洗便所改造資金貸付事業 3,182千円(3,173千円)</p>								
(26)	一般会計繰出 金	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	国・県				企業債	その他	利益剰余金	
	資本的支出 1款4項1目	千円 4,000,000	千円 -	千円 4,000,000	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,000,000
<p>利益剰余金の一部を活用し、一般会計繰出金を計上します。</p> <p>1 一般会計繰出金 4,000,000千円(-千円)</p>								
(27)	予備費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	国・県				企業債	その他	損益勘定 留保資金等	
	資本的支出 1款5項1目	千円 10,000	千円 10,000	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 10,000
<p>予備費を計上します。</p> <p>1 予備費 10,000千円(10,000千円)</p>								

下水道事業の主な整備内容

行政区	主な整備内容	
	下水道管	水再生センター等 (P:ポンプ場、T:水再生センター、C:汚泥資源化センター)
鶴見	①駒岡地区 ②寺谷地区	鶴見P:①沈砂池 ②ガスタービン設備 ③沈砂池設備 末吉P:④水管橋耐震化 北二T:⑤護岸耐震化 ⑥水処理施設防食覆蓋 ⑦水処理設備(高度処理) ⑧発電設備 ⑨特別高圧電気設備 ⑩分離液調整池設備 北二C:⑪汚泥濃縮タンク防食覆蓋 ⑫分離液処理施設 ⑬消化タンク補機設備 ⑭分離液沈殿設備
神奈川	③三ツ沢東町地区 ④二ツ谷町地区	神奈川T:⑮汚泥貯留槽防食 ⑯ポンプ設備 ⑰送風機設備 ⑱無停電電源設備
西	⑤エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線(一部神奈川区を含む) ⑥宮ヶ谷地区	桜木P:⑲ポンプ設備
中	⑦本牧間門地区 ⑧本郷町地区 ⑨本牧大里町地区	中部T:⑳ポンプ設備 ㉑高速ろ過施設 ㉒高速ろ過設備
南	⑩真金地区 ⑪大岡川右岸幹線 ⑫大岡地区	
港南	⑬上大岡西地区 ⑭丸山台地区(地域防災拠点等流末枝線) ⑮日隈山地区 ⑯日野地区 ⑰港南台地区(地域防災拠点等流末枝線)	
保土ヶ谷	⑱仏向地区 ⑲新井町地区 ⑳上菅田地区(地域防災拠点等流末枝線)	保土ヶ谷P:㉓耐水化
旭	㉑鶴ヶ峰地区(地域防災拠点等流末枝線) ㉒柏町地区	
磯子	㉓圃村地区 ㉔洋光台地区(地域防災拠点等流末枝線)	磯子P:㉕管理棟 ㉖ポンプ設備 ㉗除塵機設備 磯子第二P:㉘ポンプ設備 南部T:㉙放流渠 ㉚送風機設備 ㉛水処理設備(高度処理) ㉜消毒設備
金沢	㉕能見台地区(地域防災拠点等流末枝線) ㉖泥亀地区	金沢T:㉞導水渠 ㉟水処理施設防食覆蓋 ㊱ポンプ設備 ㊲水処理設備(高度処理) 南部C:㊳焼却炉設備 ㊴し渣分離・し渣搬送設備 ㊵脱臭設備 金沢P:㊶耐水化
港北	㉗新横浜地区 ㉘新吉田地区	港北T:㊷水処理施設防食覆蓋 ㊸ポンプ設備 ㊹送風機設備 ㊺除塵機設備 ㊻オゾン消毒設備 ㊼無停電電源設備 新羽P:㊽水管橋耐震化 ㊾発電設備 樽町P:㊿沈砂池設備 北綱島P:㉙汚水管耐震化 ㉚ポンプ設備
緑	㉙竹山地区 ㉚鴨居地区	
青葉	㉛恩田川左岸雨水幹線 ㉜あざみ野地区(地域防災拠点等流末枝線)	
都筑	㉝荏田地区 ㉞川和地区	都筑T:㉟汚泥調整槽防食覆蓋 ㊱無停電電源設備
戸塚	㉟下倉田地区(地域防災拠点等流末枝線) ㊱戸塚町地区 ㊲深谷町地区 ㊳下倉田町地区	西部T:㊴水処理施設 ㊵水処理設備 ㊶脱水機棟 ㊷ポンプ設備 ㊸送風機設備
栄	㊴小菅ヶ谷地区 ㊵飯島地区 ㊶野七里地区(地域防災拠点等流末枝線)	栄一T:㊷揚水施設耐震化 ㊸特別高圧電気設備 栄二T:㊹水処理施設防食 ㊱ポンプ設備 ㊲送風機設備 ㊳沈殿池設備 ㊴沈砂池設備 ㊵雨水調整池 ㊶雨水調整池設備
泉	㊷新橋地区(地域防災拠点等流末枝線) ㊸西が岡地区 ㊹中田東地区(地域防災拠点等流末枝線) ㊺中和田雨水幹線 ㊻中田南雨水幹線 ㊼上飯田地区	
瀬谷	㊽三ツ境地区 ㊾瀬谷地区 ㊿本郷地区	

下水道事業の主な整備箇所

